

ふれあいネットワーク

社会福祉協議会だより 夢ふうせん

第115号

2016年6月

社会福祉法人
下市町社会福祉協議会
下市町ボランティアセンター
下市町大字善城 140 番地 1
TEL 52-6125

子どもたちを地域で守ろう！ 下市小学校新1年生28名 ランドセルカバー＆防犯ブザー贈呈式



ぼくたちわたしたち

交通ルールを守り、

元気に登校します。

4月13日、下市小学校新1年生28名に、下市町善意銀行（川岸頭取）より反射材付きランドセルカバーを下市町民生児童委員協議会（磯矢会長）より防犯ブザーをまた、吉野警察署田代交通課長より、安全グッズをそれぞれ、贈られました。

川岸頭取は、「地域の皆さんから頂いた、善意のお金から購入しました。ランドセルにつけて、登下校の時は、車に気をつけ、先生やお家の人の言うことを守って元気に学校生活を送って下さい」と挨拶され、磯矢会長は、「このブザーはみんなを危険から守ってくれます。知らない人に声を掛けられ、連れて行かれそうになった時にならうと、近くにいる人に知らせてくれます。いつもは、ランドセルに付けて、遊びでは絶対にならさないで下さい。」と話されました。

榎谷校長先生からは、「ランドセルカバーや防犯ブザー、そして警察さんから頂いた安全グッズを頂きました。元気に、安全に学校生活ができるように皆さんは、地域の人達に守られています。感謝の気持ちを込めてありがとうございます。28名の新入児童は、大きな声で「ありがとうございました」と挨拶しました。」と挨拶しました。

このたびの熊本地震に被災された皆様に心より
お見舞い申し上げます、一日も早い復興を心より祈
り申し上げます。

みんなで広げよう、支援の輪

4月に起きた熊本地震により、
人的被害をはじめ、家屋の倒壊な
ど甚大な被害を受け一日も早く元
の環境に戻るよう復興作業が行
われていますが、まだまだ不自
由な生活が強いられている状況が連
日テレビでも放映されています。
こうした被害に対し、全国でも支
援の輪が広がる中、私たちの町で
も義援金活動を行っています。

すでに社会福祉協議会にも届け
ていただいている個人、団体によ
る善意の輪も広がり、第1回義援
金として17万4045円送金さ
せていただきました。

被災された方々に少しでも多の
真心が届きますよう皆様のご協力
をお願いいたします。

＜義援金の受付場所＞

- ・下市町共同募金委員会（町社協）
事務局（☎52・6125）
- 交流センター ごんたくんの家
- ・下市町役場住民保険課



各地から駆け付けるボランティアたち(西原地区)

日が経つにつれ、その被害の大
きさが明るみになり復興への道
りも険しいものとなっています。
熊本県内の複数の市町村におい
て、被災者支援のための災害ボ
ランティア活動が現在も必要とさ
れています。災害ボランティアセ
ンター運営支援のため、社協職員
派遣の要請を受け中森征孝職員が
5月25日～5月30日現地へ向か
いました。

町社協職員現地に派遣！

もう一度見直そう！地震・災害への備え

「いつ起こるかが予測できない自然災害。私たちの身に大きな地震や災害が起こった時、慌てないように今一度、非常時に備えて何が必要かを考えましょう。準備しておけば不安の大きさも違ってきます。」

【身を守る対策】

- ① 住まいの家具配置を考える
- ② 家具、電化製品の転倒防止
- ③ 飛散防止対策（窓や食器棚などガラスが飛散する危険性のあるものにはガラス飛散防止フィルムを貼っておく）
- ④ 照明器具の落下防止策
- ⑤ 消火器の準備

【災害備蓄品】

- ① 食品3日分（高カロリーで栄養バランスが良く消化の良い物）
- ② 飲料水3日分（1日ひとり3ℓが目安）
- ③ 衛生用品（救急箱→常備薬、包帯、ガーゼ、絆創膏、消毒液、軟膏など）
（マスク・ウェットティッシュ・除菌消臭スプレー・生理用品・おむつ等）

【あると便利なもの】

- | | | |
|-------------|-----------|--------|
| ・トイレットペーパー | ・ガムテープ | ・保冷剤 |
| ・ライター、マッチ | ・万能ナイフ | ・筆記用具 |
| ・携帯電話の簡易充電器 | ・ほうき、ちりとり | ・乾電池 |
| ・ラジオ、懐中電灯 | ・ポリタンク | ・軍手 |
| ・カセットコンロ | ・クーラーバッグ | ・ヘルメット |
| ・アルミホイル、ラップ | ・使い捨てカイロ | ・ゴミ袋 |





下市ユートピア保育園避難訓練実施

4月27日園児たちは、普段聞きなれない非常ベルの音に驚きながらも、防災ずきんを着用し緊張感を持ちながら先生の誘導のもと庭へと避難をしていました。

この防災ずきんは、いつ起こるかわからない災害に備え、地震等から身を守る防災グッズとして町内保育園児、幼稚園児に「赤い羽根共同募金」(共同募金地域配分金)より寄贈させていただいています。



子育て交流事業

「英語で遊ぼう」開催

4月21日、新しいお友達の参加もあり、28年度の「英語で遊ぼう」がスタートしました。5月19日は単語遊びや、リズム遊び、鯉のぼりの制作をし親子で楽しく遊びました。毎回下市小学校・中学校のALTの先生と楽しく歌や制作、ゲーム等をして親子で楽しく遊んでいます。初めて参加の方も大歓迎です。お待ちしております。

6・7月の交流事業のご案内

Let's try

組み紐作りに挑戦(定員になり次第×切り)

6月13日・15日

10時～12時

子どもお楽しみ会

7月13日 15時30分～

★「子育てサロン」7月12日 10時～

下市幼稚園にてプール遊び

子育て支援交流事業

★「英語で遊ぼう」10時～

6月16日・7月21日

★奈良県広域下市消防署員による講習会

「乳幼児の水遊びの心得、ケガと病気の対処法」

6月27日 10時～

★「おさがり交換会」6月27・28・29日

9時～16時(最終日15時)

★「伝承遊び」7月25日 10時～

お問い合わせ先：下市町交流センター(ごんたくんの家) ☎52-3810

福祉サービスの苦情相談受付

社会福祉法人

下市町社会福祉協議会

(☎52-6125)

【受付責任者】上村陽子

【受付担当者】野田代始子

【第三者委員】藤村忠弘(☎52-0810)

【第三者委員】平井浩治(☎52-2922)

◇福祉サービス(高齢者・障害者・児童に関する施設や在宅福祉サービス等)に対する処遇の内容に関する苦情や福祉サービスの利用契約に関する苦情等について相談することができまます。

◇相談内容によっては奈良県運営適正化委員会の委員である医師、弁護士、社会福祉士、大学教授などが専門的な立場から相談や必要な助言を行います。

電話・fax(共通)

0744-29-1212

奈良県運営適正化委員会

(奈良県社会福祉協議会内)

◇介護サービスに関する苦情は

奈良県国民健康保険団体連合会

(☎0744-21-6811)

フリーダイヤル0120-21-6899

において受け付けています。

◎平成27年度において下市町社会福祉協議会への苦情相談は0件でした。

昨年、国が始めた新オレンジプランは「認知症高齢者が住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らしていける環境作り」を目標す5か年計画です。認知症カフェが各地で増えてきているのは、いわばその地盤作りなのです。

認知症になると、自宅に閉じこもりがちになりますよね。また、認知症の人を介護する家族も、介護の大変さを相談するところが無くて、家族で抱え込んでしまう事が多いようです。

そこで、認知症力フエには認知症の人と家族にとって、情報交換や共感ができ、心が安らぐ場所としての役割が期待されているのです。専門家や地域住民も参加し、交流する事を通じて、認知症への偏見をなくし認知症になっても暮らしやすい地域をつくるきっかけとなる場所でもあります。

第一回「たんぽぽカフェ」を開催しました！

5月13日（金）下市町交流センターごんたくんの家で第一回「たんぽぽカフェ」を開催しました。22名の方にご参加いただき

き、コーヒーとお菓子を食べながら、話に花が咲きました。



民生委員さんと地域の方も参加してくださいました。

この日は、松田保健師の健康体操で身体をほぐした後、参加者の皆さんで、5月にちなんだ鯉のぼりの壁面飾り作りをしました。作業中も皆さんのおしゃべりは止まることなく、あちこちのテーブルから楽しそうな笑い声やお話が聞こえてきていました。



右手と左手で違う動きをするのが脳に
良いそうです。

千代紙で作った小さな鯉のぼりを集めて、皆さんで協力して作り上げた壁面飾りを眺めながら、最後は全員で「鯉のぼり」の歌を合唱しました。

開催時間の2時間の間は皆さんが終始笑顔で、あっと言う間に過ぎて行きました。帰り際には「こんなに話して笑ったのは久しぶり」「毎日して欲しい」と嬉しい言葉をいただきました。



皆さんで楽しく作業しています。

「たんぽぽカフェ」は特別な場所ではありません。誰でも気軽に参加できて、悩み相談や、情報交換が出来る有意義な場所です。月に1回のペースで開催します。月、どうぞ、お気軽に立ち寄ってみてください。思いがけない出会いがあるかもしれませんよ。

たんぼぼは土地がアスファルトでもしっかり根付き、何度踏まれても咲き続ける強い花です。そんなたんぼぼのように、高齢になっても、認知症になっても、どんな試練でも乗り越える強い力を持ってください。そして、たんぼぼの綿毛が飛び立って行き、また新しい花が咲く様子から、次の世代へ皆さんの想いをつないでいきましょう。そんな思いを込めて「たんぼぼカフェ」という名前を決めました。なににより、たんぼぼの可憐な花は見る人の心をととても癒してくれます。そんな「たんぼぼカフェ」の温かいイメージの通り、次回からも、来ていただいた皆さんが笑顔になって、ほっこり出来るような企画を用意してお待ちしています。



★毎月第2金曜日 10時～12時



皆さんで作上げた壁面飾りは交流センターに掲示していますのでお近くに来られた際には見に来てくださいね。